

課題の設定

ステージ1

ステージ2

ステージ3

2100年未来の天気予報をもとに、気候変動対策について課題をつくろう。

- ①「2100年 未来の天気予報」をもとに、地球温暖化による世界規模の環境問題について知る。
- ②ゲストティーチャーの話から、身近な環境問題に対しても問題意識をもつ。
- ③温暖化・気候変動に対して、抱いた疑問や感想から、問いを立てる。
- ④行動を通して解決策を考える。本活動のゴールイメージをもつ。(課題の設定)
- ⑤人の生産活動による環境に関わる諸課題(ごみ、食品ロス、エネルギー、生物多様性、気候変動、温室効果ガス等)と自分たちの生活とのつながりについて調べる。(情報の収集)
- ⑥集めた情報をカード等を活用し、整理分析する。(整理・分析)
- ⑦調査報告書にまとめ「1学期の子どもとおとなの話し合いの時間」で報告・討論し、自分の課題を大人に問いかけ今後の活動の見通しを立てる。(まとめ・表現)
- ⑧これまでの活動を見直し、活動の意味や価値を問い直し、今後の活動について見通しを立てる。(見直し問い直し見通し)

有限性

気候変動対策について、自分が問題意識を持ったテーマについて取り組もう。

- ①対策に対する行動について課題を明確にする。(課題の設定)
- ②個別の課題について解決の方法を調べ、必要な情報を収集する。(本、図鑑、インターネット、取材等)
- ③調べたことをもとに、自分にできることを考えて夏休みを利用し、実践する。
- ④友達同士で調べたことや考えたこと、行動して分かったことなどを交流し、意見を伝え合う。(情報の収集)
- ⑤思考ツールなどを使い、情報を関連付けたり、吟味したりする。(整理・分析)
- ⑥実践したことをレポートにまとめる。
- ⑦「2学期の子どもとおとなの話し合いの時間」で報告・討論し、取り組みについて評価検証する。(まとめ・表現)
- ⑧これまでの活動を見直し、活動の意味や価値を問い直し、今後の活動について見通しを立てる。(見直し問い直し見通し)

多面的・総合的な視点

これまでの取り組みをもとに、アジェンダ(行動計画)を作成・実行しよう。

- ①これまでの成果をもとに、アジェンダを作成する。(課題の設定)
- ②設定したアジェンダ実現に向け、活動名、活動日時、場所、目的、参加者、時間配分、必要な情報、次の活動について、考えるための情報を、ニシタス・チームESD等と連携しながら収集する。
- ③集めた情報を未来思考で整理分析しアジェンダを作成し、実行する。(情報の収集)
- ④活動を通してアジェンダを評価し、得られた成果と課題を整理・分析する。(整理・分析)
- ⑤分析した情報をもとに、アジェンダを再構成し各チームのアジェンダとしてレポートにまとめる。(まとめ・表現)
- ⑥これまでの活動を見直し、活動の意味や価値を問い直し、今後の活動について見通しを立てる。(見直し問い直し見通し)

連携性・社会参画

よりよい地域の環境のため考えたり取り組んだことをもとに、思いや願いを発信しよう

- ①ESD子供報告会をより良いものにするために、どのようなことができるか考える。(課題の設定)
- ②各グループのアジェンダレポートを読み合い、活動をより効果的に発信するための方法を考える。
- ③仲間・卒業生・チームESD・大学生等と「よりよい報告会にするためには何ができるか」討議し、意見を収集する。(情報の収集)
- ④集めた情報を思考ツールなどを用いて整理・分析する。(整理・分析)
- ⑤ESD子供報告会での発表の内容・方法についてグループごとに考える。
- ⑥ESD子供報告会で作成したアジェンダをもとに発表し、参加者と討議する。
- ⑦発表を通して得た知見をもとに、1年間の活動をレポートにまとめる。(まとめ・表現)
- ⑧これまでの活動を見直し、活動の意味や価値を問い直し、今後の活動について見通しを立てる。(見直し問い直し見通し)

循環と再生

理科 「天気の変化」「台風」
・気候変動と環境問題を関連づけてとらえることができる。
国語 「きいて、きいて、きいてみよう」
・インタビューなどの際に、話の意図を考えて聞き合う。
「目的に応じて引用するとき」
・目的を意識して引用するときの情報の書き留め方について考える。
「みんなが過ごしやすい町へ」
・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
芝浦工業大学大学生との交流・意見交換
海老原氏(生産・流通・消費・廃棄)
宮原氏(バイオガス)
高橋氏(ミミズコンポスト)

国語「作家で広げるわたしたちの読書」
・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。
算数「合同と三角形、四角形」
・多角形の内角の和について、四角形の内角の和の求め方をもとに、多面的・発展的に考えている。
社会「食糧生産と私たちの暮らし」
(米作り、農業)
・私たちの暮らしに欠かせない食糧生産の在り方が、自然環境や生物資源、食品ロスなど多様な環境問題と関連づいていることを理解する。
道徳「一ふみ十年」(自然愛護)

国語 「固有種が教えてくれること」「表やグラフを用いて書こう」
・統計資料などのデータの読み取り方を知り、環境にかかわるデータを分析し、これからの未来を志向する。
算数 「割合とグラフ」
・「問題ー計画ーデーター分析ー結論」といった統計的な問題解決の方法を理解する。
社会 「工業と私たちの暮らし」
・消費者の需要や社会の変化に合わせる努力をしていることや、日本のものづくりの良さについて理解する。
道徳 「流行おくれ」(ものを大切に使う節度)
地域 専門家・研究者
地域の農家の方 エコプロ参加

国語 「想像力のスイッチを入れよう」
・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。
社会 「環境と私たちの暮らし」
(水、森林、自然災害)
・森林の働きの重要性やさまざまな利用のしかたについてまとめ、私たちの生活とのつながりやこれからの林業について理解する。
理科「電磁石の性質」
・電流がつくる磁力についての事物・現象に進んで関わり、限りあるエネルギーについて考察する。
交流 ユネスコスクールネットワーク
道徳 「イルカの海を守ろう」(自然愛護)
地域 すぎなみ環境ネットワーク(紙漉き)